

東濃農林事務所の普及活動状況

令和6年6月

ぎふ農業・農村を支える人材育成

■東濃圏域障がい者総合支援推進会議 農福連携の推進に向けて

6月26日に、東濃圏域障がい者総合支援推進会議が開催された。本会議は、障がいのある方の就業支援を進める福祉関係機関のネットワーク会議であり、障がい者等の就労、雇用について情報交換が行われた。

障がい者等の農業分野での活躍を通じた社会参画を進めるため、農業経営課、ぎふ農福連携推進センター、恵那農林事務所、東濃農林事務所が本会議に出席し、農福連携の情勢や取り組み状況について情報提供を行った。東濃農林事務所農業普及課からは、今年度の「農福連携東濃地域連携会議」の活動計画について説明を行い、農福連携の取り組みに係る理解の醸成を図った。

農業普及課では、今後、立案した活動計画に基づき、関係機関と連携して農福連携の取組を推進していく。



【推進会議の様子】

安心で身近な「ぎふの食」づくり

■農産物直売所 直売所生産者向け栽培研修会の開催

きなあた瑞浪出荷者協議会は、瑞浪市内にある直売所「きなあた瑞浪」へ農産物を出荷する会員を対象に、毎年数回、栽培研修会や地区ごとの野菜づくり懇談会を開催している。

6月10日に釜戸地区野菜づくり懇談会を開催し、地区内の会員が12名参加した。栽培ほ場の見学の後、農業普及課から秋冬野菜栽培について説明した。厳冬期から春先の出荷物が例年少なくなるため、冬期も安定出荷できるよう品種体系や被覆資材の活用等について情報提供した。

農業普及課では今後もJAと連携して、地元農産物が長期に直売所出荷できるよう技術支援を行っていく。



【地区野菜懇談会の様子】

■農産物直売所 野菜づくり塾の開催

6月6日に瑞浪市のJAとうと瑞浪経済センターにおいて野菜づくり塾が開催された。

JAよりキュウリやトマトの栽培管理のほか、農薬の使用方法や作業日誌の記入について説明が行われた。

また、現地実習ではキュウリ苗の定植作業として、黒マルチ張り、植穴あけ、苗の定植、ネット張りが行われ、農業普及課からは、参加者に対して栽培技術についての指導や助言などを行った。

野菜づくり塾は、今後数回開催される予定であり、農業普及課では、JAとうとへの開催支援や講義など様々な支援を行っていく。



【野菜づくり塾の様子】